



# 学校だより

5月号

No.533

初代校長 佐藤 堯 先生書

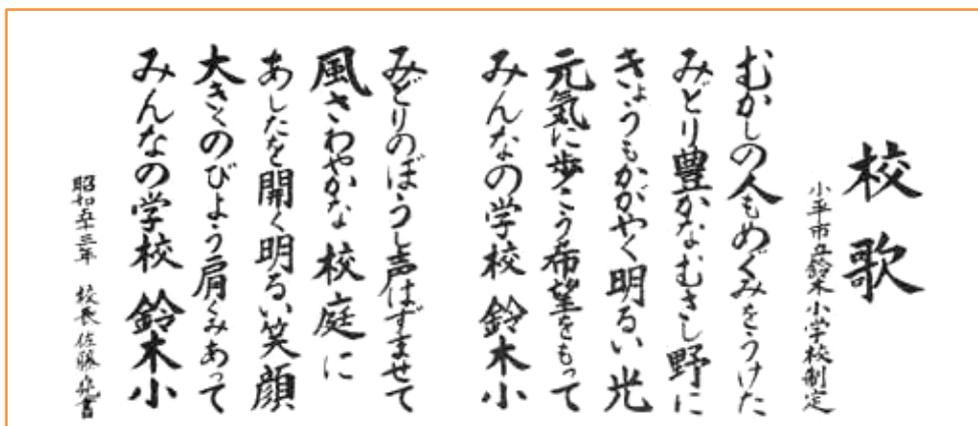
〒187-0011 小平市鈴木町 1-450 Tel 042(324)3661 Fax 042(324)3662  
 HP <http://www.kodaira.ed.jp/18kodaira/> E-mail [gakkou@18.kodaira.ed.jp](mailto:gakkou@18.kodaira.ed.jp)

## みんなの学校 鈴木小

副校長 長坂 美貴

4月中は、新年度始めにつき、保護者の皆様には様々な文書の作成や提出をお願いしてまいりましたが、おかげさまで円滑にスタートすることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

さて、始業式、入学式から約1カ月たちました。長い間、儀式的行事での校歌は「心の中で」歌ってききましたが、今年度から久しぶりにみんなで歌うことができる喜びを感じながら、改めて校歌の歌詞に思いを馳せました。



校歌の1番と2番の終わりには、「みんなの学校 鈴木小」とあります。「みんなの学校」とはどのようなものなのでしょうか。私は、この「みんなの学校」とは、みんなでつくっていくものなのだと思います。

入学式後から6年生は、毎朝1年生の教室に手伝いに行っています。6年生の子どもたちのおかげで、1年生もできることがぐんと増え、今や6年生は「手伝う」から「見守る」姿に変わってきました。6年生からは、「かわいい。」「手伝うことは、やりがいがある。」「やるべきことが多くあり、楽しい。」という頼もしい声が聞かれました。先日は、委員会の委員長紹介集会がありました。委員長の話に共通していることは、「鈴木小のみんなが楽しくなるように」「よりよくなるように」という言葉でした。6年生が、最高学年として一人一人が鈴木小学校を今よりももっとよくしていこうとする意欲が伝わってきます。

今の鈴木小は、6年生を中心とした子どもたちが、校歌2番にあるように「明るい笑顔」と「大きくのびよう肩くみあって」の気持ちで、「みんなの学校」をつくっているように感じます。理想的で素敵なことではありますが、それを実現するのは容易ではありません。「みんなの学校」を自分たちでつくり上げようと頑張る子どもたちを誇りに思うとともに、これからも、楽しく笑顔で多くの人と関わり向上し合える学校となるよう、教職員一丸となって子どもたちを支えながら教育活動をすすめてまいります。

5月8日から新型コロナウイルス感染症も第5類となるに伴い、学校生活も実施できなかったことができるようになっていきます。今月の学校公開は、制限なしで実施します。とはいえ、密集・密閉・密接にならないよう換気や消毒など基本的な感染対策は、講じていきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 生活目標 「きまりを守って生活しよう」

「学校のルールを守る」ことは、よりよい集団生活を営む上で必要なことです。このことは、社会のルールを守る態度や社会性を育む上での基礎となります。子どもたちはルールを守ることの大切さを、学校や家庭、地域の中で経験を通して学んでいきます。ルールを守る子どもを育て、さらには、誰にも言われなくても自分で考え、他者を意識しながら、自分のことも周りのことも大切にできる子どもを共に育てていきましょう。